

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ③⑤

『ひと粒の麦—Moment—』

音楽の不得手な私ですが、一人好きなエンターテナーがいます。さだまさしさんです。『今夜は生さだ』(NHK)を毎月楽しみに視聴しています。最近、中村哲氏のことを歌にした『ひと粒の麦』を聴き、感激しました。

ひと粒の麦を大地に蒔いたよ
ジャラーラーバードの空は蒼く澄んで
踏まれ踏まれ続けていつかその麦は
砂漠を緑に染めるだろう
戦いに疲れ果てた貧しい人たちには
診療所よりも一筋の水路がほしい
水があればきっと人は生きられるだろう
諍いを止める手立てに
Moment 薬で貧しさは治せない Moment 武器で平和を買うことはできない
けれど決して諦めてはならない

中村哲氏は医師であると共にアフガニスタンに25kmの灌漑水路を切り拓いた社会活動家です。医師として医療救援活動をするうちに、アフガニスタンの人たちのためには灌漑用水を拓き、砂漠を農地に代える事を考えるようになります。内戦の続く土地で、旱魃と戦うことがいかに困難をきわめる事業であったでしょうか。『天、共に在り』(NHK出版)という氏の自叙伝を読みました。中村氏の意志の強さと使命感に人としての凄みを感じました。「私たちが己の分限を知り、誠実である限り、天の恵みと人のまごころは信頼に足るといことです」一度是非この本を手にとってみてください。

最近楽しい絵本を見つけました。ご存知の方も多いと思います。『おしっこちょっぴりもれたろう』。ヨシタケシンスケ氏の作品です。ちょっとしたブームで関連したグッズが売れているそうです。「おしっこの前か後かにちょっぴりもれちゃう ズボンをはいたら分からない」幼少期の子どもたちにとってあるあるのお話。素敵なおじいさんとの対話になっています。氏の作品で『あつかったらぬげばいい』も楽しい作品です。2コマで展開する疑問とユーモアのある回答には思わずほくそ笑みます。「世の中がみにくく思えたら ひかるがめんをみなきゃあいい」「難しく考えすぎる気がしたら シャンプーで新しい自分になればいい」。ヨシタケ氏はイラストレーターで絵本作家。日常の1コマをコミカルに切り取るスケッチ風の作品が特徴となっています。大人が読んでも楽しい作品です。

令和5年2月7日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視